ESOTERIC

C-03

D01022600C

目　次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

特長 2
安全にお使いいただくために 5
お使いになる前に 8
各部の名称(本体) 9
各部の名称（リモコン） 10
リモコンについて 11
接続 12
設定1 14
設定2 15
困ったときは 17
仕様と寸法図 18
保証とアフターサービス 19
ブロック・ダイヤグラム 20
リアパネル 21

特　長

本質にこだわる設計思想

機能を欲張らず、付加的な回路を排除し練り上げた最少構成の中枢回路に、オーディオ信号を最上の状態で流す。それがC-03の本質重視の設計思想です。

トーンコントロールやRECアウトなどの回路を信号経路に持たないことで、本流となるオーディオ信号回路とその経路は最適化され、部品点数の多くなるディスクリート構成回路や、大型のハイグレードパーツの理想的な部品配置が実現できました。

高品位なディスクリート構成バッファアンプを、入力段/出力段ともに搭載し、特に外部パワーアンプへの送り出しである出力バッファは高電圧駆動回路とし、あらゆる音楽信号を、ゆとりを持ってパワーアンプに伝送します。

さらに、入力段と出力段のオーディオ回路の配置は、高剛性シャーシによるそれぞれの専用コンパートメントを上下に構成することで、リアパネルの入出力端子に近い本体後部だけで完結し、合理的に信号経路の最短化を図るとともにコントロール部や電源部から効果的に分離しました。

デュアルモノラル構成

エソテリックのハイエンドモデルにおいて採用しているL/Rデュアルモノラル構成を、徹底して採用しました。

通常、ステレオ機器においては、1枚の基板の中で、左右チャンネルの信号経路や電源経路、部品配置などにわずかな有利・不利の差が出てしまいます。この差を皆無にするのがデュアルモノラル思想です。

左右のチャンネルそれぞれに同一のオーディオ基板を持ち、同様に各チャンネルには独立した専用の電源部と大型トロイダルトランスを各1台搭載。これらを左右で共用しないため、理想的な左右分離を実現するとともに、電源供給能力にも圧倒的な余裕が生まれます。

プリアンプの要となるボリュームコントロールシステム

ボリュームのデバイスに何を使用するか、それをどう活かすかは、音質上においても製品設計上においても重要なファクターです。

C-03で採用したボリュームコントロールアンプ(可変ゲインアンプ)は、可変抵抗方式を含め多数のデバイスを比較試聴した結果の音質的なキーデバイスであると同時に、信号経路の最適化やデュアルモノラル構造といったC-03の特長に、最大限に寄与しています。

このデバイスをL/R独立したオーディオ基板にそれぞれ配置することにより、通常はL/Rで共用することが多いボリュームまでも、デュアルモノラル構成を徹底できました。また、オーディオ信号は純粋にオーディオ基板のみを通ることとなり、信号ラインの引き回しによるノイズの混入や、スピーカーの音圧などによる外部振動の影響などが最小化されます。

音量つまみはポイントマーカーの位置で直感的に音量がわかる従来からの操作性を継承しつつ、つまみの位置をA/Dコンバーターによってマイコンが認識し、その位置に見合った音量がボリュームコントロールアンプに設定されます。

また、リモコン操作により左右の音量バランス調整や入力感度調整、トータルゲインの切り換えなども設定できます。

これらの音量に関わる調整項目はすべて総合的にマイコンで判断され、ただ1ヵ所のボリュームコントロールアンプのゲインとして設定されます。これらの調整をいくつかの回路で行う時と異なり、C-03ではそれぞれの項目での調整値(減衰や増幅)による信号劣化や音質変化の心配が無用です。

特　長（続き）

高音質に徹した5系統入力・3系統出力

C-03は5系統(RCA×3系統、XLR×2系統)の入力切り換えが可能です。選択した入力以外の入力端子は回路から切り離され、非アクティブの入力からの電気的な影響が排除されます。

入力端子RCA3は本機のプリアンプ機能をバイパスすることができ、お手持ちのAVシステムとC-03に接続されたフロント2chのパワーアンプおよびスピーカーを共用したい場合に便利です。

出力はXLR1系統に加え、RCA出力はバイアンプ接続に便利な2系統を装備。出力切り換えはRCA/XLR/BOTHの3つのモードから選択でき、使用しない出力を無信号にすることができます。

マイコンノイズを遮断する入念な設計

コントロール部からのデジタルノイズ混入を防ぐため、マイコンからオーディオ回路へのコントロール信号はすべてフォトカプラー(光接続)により電気的にアイソレートしています。

さらに、音量調節などの操作を終えると数秒でマイコンが自動的に停止する機能と、再度操作されるとそれを感知しマイコンを起動させる回路を装備。これにより、音楽を楽しんでいる時はマイコンの動作クロック発振さえ停止しており、音楽信号の純度をよりいっそう高めています。

随所にハイグレードパーツを投入

徹底的な試聴を繰り返して厳選したハイグレード部品を投入。大型トロイダルトランス、ドイツ製の高品位コンデンサ、高純度な6N(99.9999%)銅線に加え、稀少な8N(99.999999%)高純度銅線をオーディオ信号の内部ケーブルとして採用するなど、随所に最高音質を追求しています。

振動対策を極めたボディコンストラクション

プリアンプとしてかつてない剛性を誇るC-03は、質量も約22kgの重量級。微小な振動に着目し、こだわりぬいた筐体構造です。

内部シャーシはすべて2mm厚の鋼板で構成され、入力、出力、電源、コントロール部といった内部回路ごとの専用コンパートメントを形成。回路間の電気的な相互干渉を防ぐとともに、機械的な強度と剛性を飛躍的に高めます。極めて堅牢なシャーシ構造の実現により無共振化を徹底しています。

ベースは5mm厚鋼板による重厚な底板を、エソテリック独自の焼入鋼ピンポイントフットで3点支持。無振動化を推し進めます。

入力端子、出力端子は基板マウントとせず、2mm厚鋼板の重厚なリアパネルにマウントされ、内部オーディオ基板とは柔軟な銅線で接続。オーディオ基板を機械的ストレスと複合的な振動モードから解放すると同時に、外部から接続されたケーブルによる振動がオーディオ基板に与える影響を最小化しています。

外装部にもフロントパネル、コーナー部、天板、側板に肉厚のアルミ材を採用し、特にスピーカーからの音圧の影響を受け易い天板は8mm厚を使用して万全を期しています。

ブラスト仕上げとショートスクラッチ仕上げが美しいコントラストを描き、フロントからサイドに流れ込むラインとコーナーのラウンドフォルムが織り成す造形美は、エソテリックのハイエンドモデル群と美しい一体感を醸し出します。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告 **以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**

電源プラグをコンセントから抜け

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない。** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。**
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約22kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

愛情点検	電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。 費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

使用上の注意

● 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。

● 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。

● CD、CD-R、カセットテープなど、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、他のアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

● 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

お手入れ

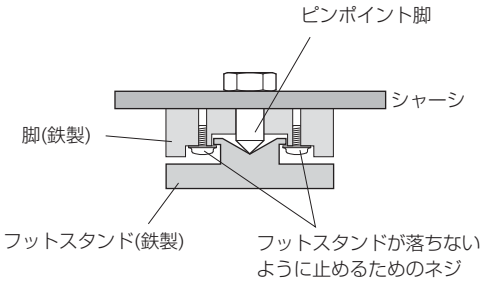
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



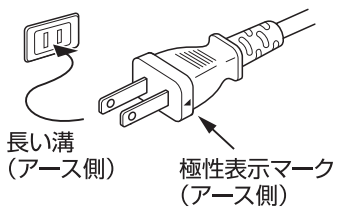
● 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。

● 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

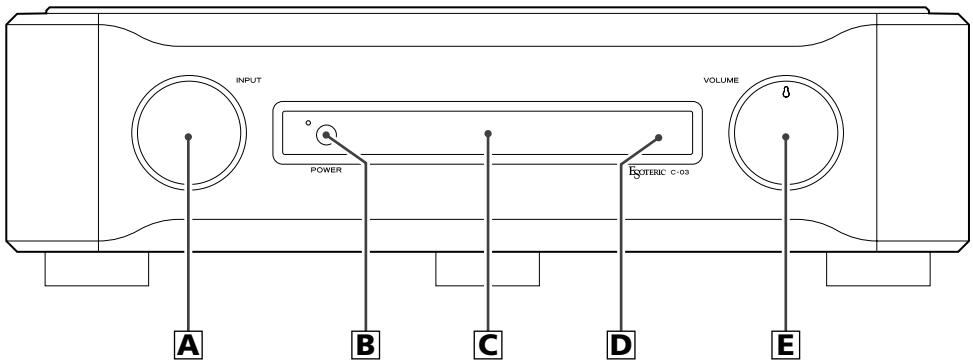
電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。



各部の名称（本体）



A 入力切換つまみ [INPUT]
入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

● ディスプレーに表示される端子名は変更したり、スキップするように設定することができます。(14ページ)

B 電源ボタン [POWER]
電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの横のインジケーターが点灯します。

● 本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

● スピーカーを保護するために、電源をオンにするときは、まず本機の音量を最小にし、ソース側の機器の電源を最初にオンにして、次に本機の電源、そしてパワーアンプの電源を最後にオンにしてください。
電源をオフにするときは、まず本機の音量を最小にし、パワーアンプの電源を最初にオフにして、次に本機の電源、そしてソース側の電源を最後にオフにしてください。

C ディスプレー

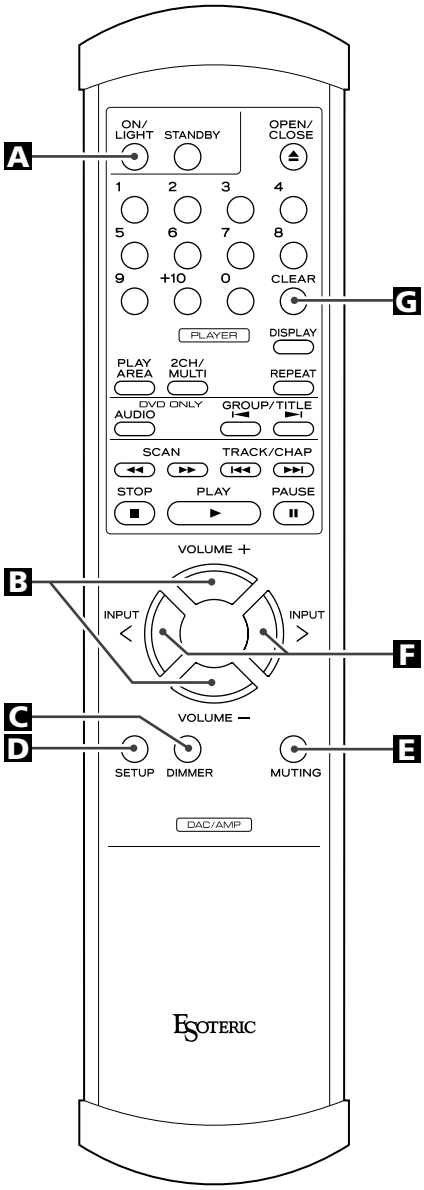
D リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(9ページ)

E 音量つまみ [VOLUME]
音量を調節します。
音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

● ゲイン切換(Gain)を+24ｄBに設定(15ページ)して使用する際、入力レベル(Level)やボリュームの設定によっては、本機のボリュームコントロールアンプの上限を超えることがあります。(トータルゲインの最大値：+31.5dB)
上限を超えたときには、ディスプレーの音量表示が点滅します。表示が点滅しなくなるまでボリュームを下げてから使用してください。

⚠ 突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

各部の名称（リモコン）



A **オンボタン [ON/LIGHT]**
このボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。
設定2(13ページ)で、一部の設定を決定するときに使用します。

B **音量ボタン [VOLUME]**
音量を調節します。
Edit(自由入力)時は、文字選択キーになります。

● リモコンで音量調節をした場合は、実際の音量変化(とディスプレー表示)よりも、音量つまみはゆっくり移動します。そのため、操作を終わってから音量つまみが指定の(ディスプレー通りの)位置に到達するまで少し時間がかかることがあります。

C **ディマーボタン [DIMMER]**
本体のディスプレーの明るさを4段階で調節できます。

FL Dimmer3 (通常の明るさ)
↓
FL Dimmer2
↓
FL Dimmer1
↓
消灯

● 本体のつまみ、またはリモコンを操作すると、約5秒間ディスプレーが通常の明るさ(Dimmer3)になります。

D **セットアップボタン [SETUP]**
「設定1」、「設定2」に使います。(14、15ページ)

E **ミュートボタン [MUTING]**
MUTINGボタンを押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● ミュート中は、ディスプレーに「MUTING」と通常の表示が交互に表示されます。

F **入力切換ボタン [INPUT]**
入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。
「設定1」、「設定2」では設定の選択に使用します。
Edit(自由入力)時は、カーソルキーになります。

G **クリアボタン [CLEAR]**
設定を途中で中止する場合に押します。

リモコンについて

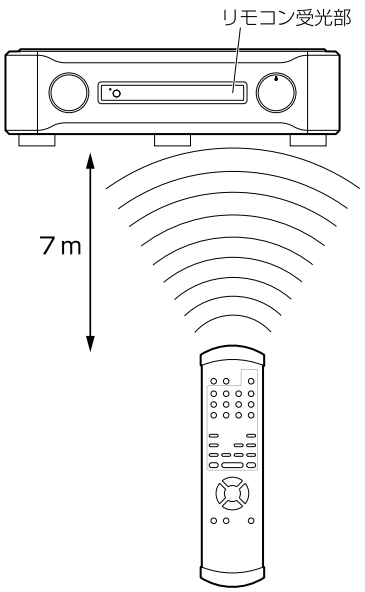
使用上の注意

● リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。

● エソテリックのプレーヤー用のボタンを使うときは、リモコンの先端をプレーヤーのリモコン受光部に向けてください。

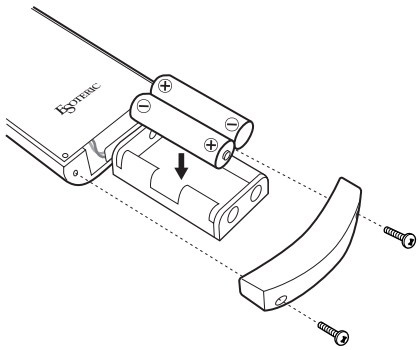
● リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。

● 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。



電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

● 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。

● 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

● 乾電池は絶対に充電しないでください。

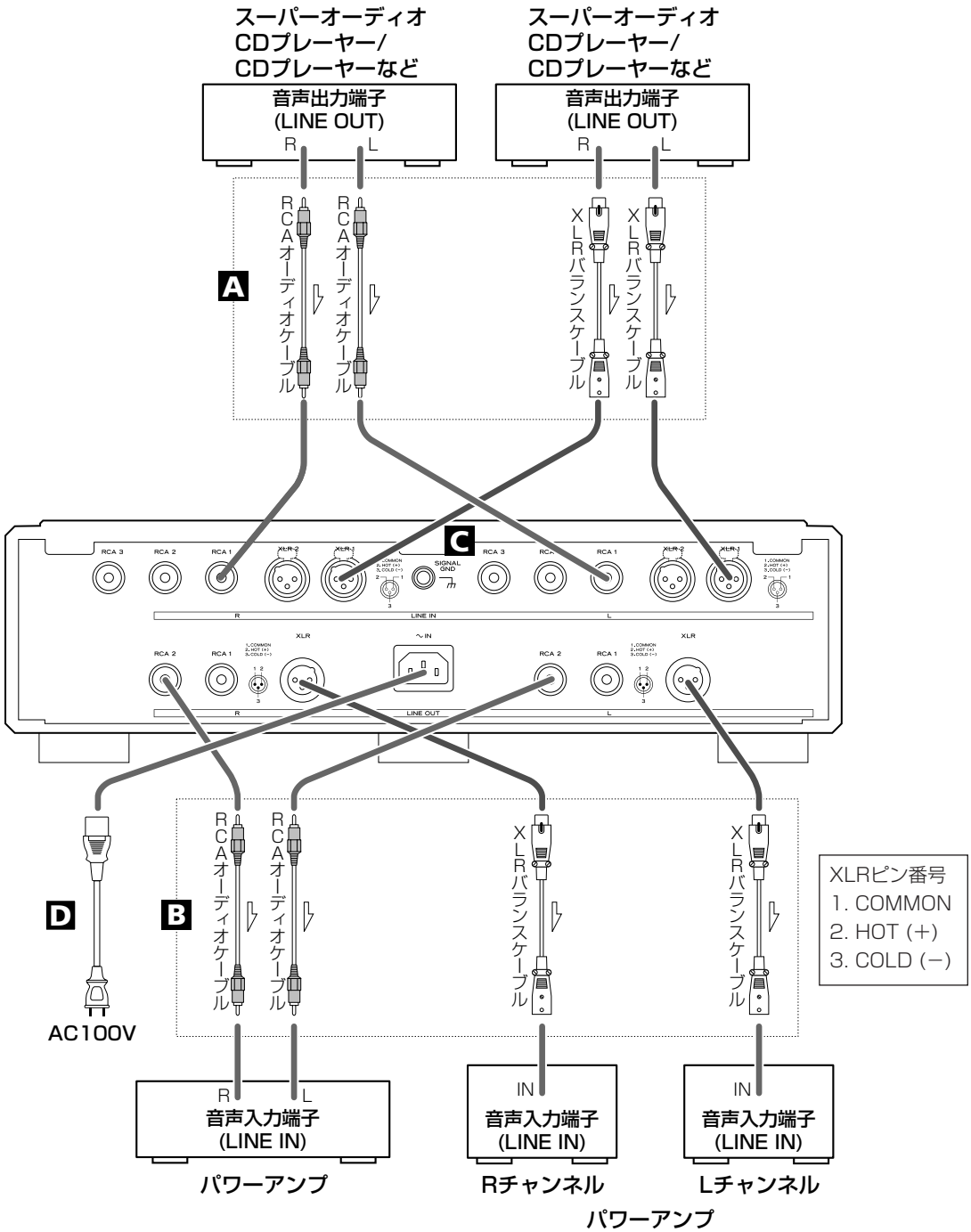
● 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

● 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

接　続

⚠ 接続時の注意

● 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A ライン入力端子

スーパーオーディオCDプレーヤー、DVDプレーヤー、カセットデッキ、チューナーなどの音声出力端子と接続してください。
市販のバランス型XLRケーブルまたはRCAオーディオケーブルを使って、本機のR端子と再生機器のR端子、本機のL端子と再生機器のL端子をそれぞれ接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
XLR : XLRバランスケーブル
RCA : RCAオーディオケーブル

- XLR入力端子は3番HOT(+)に切り換えることもできます。(14ページ)

- XLRバランスプラグはレバーがロックするまで差し込んでください。外すときにはレバーを押さえて抜いてください。

- 本機はフォノイコライザーを内蔵していませんので、レコードプレーヤーを接続することはできません。レコードプレーヤーを使用するときは、フォノイコライザーなどを介して接続してください。

B ライン出力端子

音声を出力します。
パワーアンプにXLRの音声入力端子がある場合は、市販のXLRバランスケーブルを使って接続してください。
パワーアンプにRCAの音声入力端子がある場合は、市販のRCAオーディオケーブルを使って接続してください。

- XLR出力端子は2番がHOTです。

- RCA端子は、1/2とも同じ信号が出力されます。Lが1、Rが2というように接続してもかまいません。

C アース端子[GND]

市販のビニール電線でスーパーオーディオCDプレーヤーやパワーアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

D 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

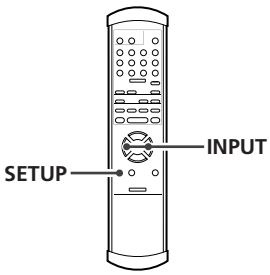
- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル　BNCデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル　スピーカーケーブル
RCAデジタルケーブル　パワーケーブル
XLRデジタルケーブル

設定1



1 SETUPボタンをくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

SETUPボタンを押す度に、ディスプレーの表示が変わります。

● 10秒以上放置するかCLEARボタンを押すと、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

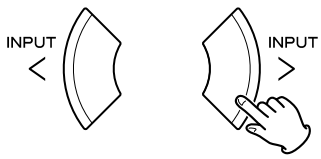
Bal>＊＊＊（左右バランス調整）

出力される音声の、左右のバランスを調整します。
L3.0(dB)～R3.0(dB)の範囲で0.5dB刻みで設定できます。
出荷時は0.0(センター)に設定されています。

Level>＊＊＊（入力レベル調整）

選択されている入力のレベルを調整します。入力ごとに異なる設定ができます。
－18.0(dB)～+18.0(dB)の範囲で0.5dB刻みで設定できます。
出荷時は0.0(dB)に設定されています。

2 INPUTボタン(<または>)を使って、設定を変更する。

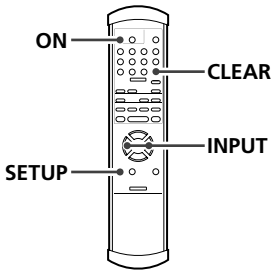


3 通常の表示になるまでSETUPボタンをくり返し押して、設定を終了する。

または10秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

● 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

設定2



1 SETUPボタンを2秒以上押す。

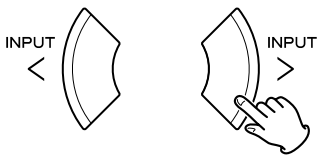
Disp>＊＊＊が表示され、設定モードに入ります。

2 SETUPボタンをくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

SETUPボタンを押す度に、ディスプレーの表示が変わります。

● 10秒以上放置するかCLEARボタンを押すと、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

3 INPUTボタン(<または>)を使って、設定を変更する。



4 通常の表示になるまでSETUPボタンをくり返し押して、設定を終了する。

または10秒以上放置するかCLEARボタンを押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

● 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

Disp>＊＊＊（音量表示）

音量の表示方法を選択することができます。
出荷時はStepに設定されています。

Step
ステップ単位(0～99)で表示されます。

dB
デシベル単位(－90.0～0.0)で表示されます。
無音(－∞dB)は－－－で表示されます。

Out>＊＊＊（出力切換）

どの端子から音声信号を出力するか選択することができます。
出荷時はBOTH(RCA+XLR)に設定されています。

BOTH(RCA+XLR)
RCA端子とXLR端子の両方から出力されます。

RCA
RCA1、RCA2端子から出力されます。

XLR
XLR端子から出力されます。

Gain>＊＊＊（ゲイン切換）

ゲインを切り換えます。
出荷時は+12dBに設定されています。
お使いのシステムでの音量やお好みのボリューム位置に合わせて選んでください。

0dB
ボリューム位置が最大のときにゲインが0dBとなります。

+12dB
ボリューム位置が最大のときにゲインが+12dBとなります。

+24dB
ボリューム位置が最大のときにゲインが+24dBとなります。

設定2（続き）

XLR1Hot>＊＊＊
XLR2Hot>＊＊＊
(XLR入力端子のHOT切換)

XLR入力端子を2番HOTにするか3番HOTにするかを選ぶことができます。
出荷時は2に設定されています。

2 通常の2番HOTになります。

3 3番HOTにしたいときに選んでください。

RCA3>＊＊＊ (RCA3の入力設定)

RCA3入力端子を通常の入力端子として使うか、シグナルスルー端子として使うか選択することができます。
出荷時はNMLに設定されています。

NML（ノーマル）
通常の入力端子として使うときに選んでください。

THRU（スルー）
THRUに設定すると、音量つまみで設定した音量は無視され、RCA3入力端子に入力された音声信号がそのまま出力されます。
THRUを選択した後、ONボタンを押して決定してください。
ディスプレーには、音量つまみで設定した音量の代わりにTHRUと表示されます。

フロントスピーカーをAVアンプと共用して使う場合など、AVアンプのプリアウト端子のFRONT L/Rと接続し、RCA3をTHRUに設定すると、RCA3を選んだときにフロントスピーカーはAVアンプのフロントスピーカーとして使うことができます。このとき、フロントスピーカーの音量はAVアンプでコントロールできます。

⚠ 注意
プレーヤーなどの音量調節できない出力端子を接続して、THRUに設定すると、本機の音量つまみが機能しないので、突然大きな音が出ることがあります。
THRUに設定するときは、必ず、プリアウト端子などの接続した側でボリュームコントロールできる端子のみを接続し、接続した機器の音量を最小にしてから切り換えてください。接続した機器の音量は徐々に上げてください。
聴力障害の原因となることがありますので、ご注意ください。

XLR1=＊＊＊
XLR2=＊＊＊
RCA1=＊＊＊
RCA2=＊＊＊
RCA3=＊＊＊
(入力名切換)

入力切換つまみ(INPUT)を回したときにディスプレーに表示される端子名を、あらかじめ登録された名前(CDなど)に変更したり、お好きな名前(5文字以内)にすることができます。(15ページ)

機器が設定されていない端子は、入力端子つまみ(INPUT)を回したときにスキップするように設定することもできます。

たとえば、XLR1端子にスーパーオーディオCDプレーヤー、RCA1端子にDVDプレーヤーを接続している場合、XLR1端子を「SACD」、RCA1端子を「DVD」、その他の端子を「＊skip」に設定すると、入力つまみ(INPUT)を回したときに「SACD」と「DVD」だけが表示されるので、目的の端子を選びやすくなります。

INPUTボタン(<または>)を押して端子名を選んでください。
出荷時の端子名、CD、DAC、SACD、DVD、CD-R、DVD-R、TAPE、MD、TUNER、PHONO、MP3、AUX、TV、VIDEO、VCR、＊skip (スキップ)、Edit (自由入力)

● 全ての端子を「＊skip」に設定すると、スキップは機能しません。

Setup CLR>＊＊＊ (設定消去)

設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。CLRを選んだ後、ONボタンを押して決定してください。

困ったときは

端子名を入力するときは

1 「Edit」を表示させ、ONボタンを押す。

2 文字を入力する。
</>ボタンでカーソル位置を移動し、+/−ボタンで文字を選択します。

3 入力が終わったらONボタンを押す。

- 名前の入力中は、音量や入力を切り換えることができません。
- 使用できる文字
  アルファベット： A〜Z、a〜z
  数字： 0〜9
  記号： ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ (空白) ■

設定と音質について

Bal(左右バランス調整)、Level(入力レベル調整)、Gain(ゲイン切換)は、いずれも音量に関わる設定項目です。これらの設定とボリュームつまみの位置は、総合的にマイコンで判断され、一ヵ所のボリュームコントロールアンプで一括制御されています。
そのため、音声信号がいくつかの回路を通過してしまう一般的なプリアンプと異なり、設定による音質劣化はありませんのでご安心ください。

ボリューム位置とGain(ゲイン切換)について

一般的に、例えばボリュームつまみの位置で12時より高い位置をほとんど使ったことがない、という事がしばしばあります。
Gain(ゲイン切換)を0dBにすると、12時以上の位置も積極的に利用して、調整をきめ細かくできるようになります。
そのため通常よく使う音量にするためのつまみの位置も、一般的なプリアンプと比べてより高い位置となります。
これにより、例えばBGMとしてそこから音量を下げて聞きたいときも音量の調整範囲が広く、また微妙な調整も可能となっています。
Gain(ゲイン切換)を+12dBや+24dBに設定すると、ボリューム位置はより低い位置で使用でき、一般的なプリアンプと同様のボリューム位置にできます。

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない。

➔ 本体の電源をオンにしてください。(7ページ)
➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(9ページ)
➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(9ページ)

テレビなどが誤動作する。

➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

音が出ない。

➔ 音量つまみを回して音量を調節してください。
➔ スピーカーや再生機器との接続を確認してください。
➔ リモコンのMUTINGボタンを押してミュートを解除してください。
➔ 設定2のOut(出力)で、接続した端子から出力される設定になっているか確認してください。(14ページ)
➔ 接続した機器の設定を確認してください。

音量つまみが機能しない。

➔ RCA3の入力端子をTHRUの設定にしていると、RCA3の入力時には音量つまみは機能しません。

音量表示が点滅する。

➔ ボリュームコントロールの上限を超えていますので、表示が点滅しなくなるまでボリュームを下げて使用してください。(9ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕様と寸法図

オーディオ特性(Gain=0dBモード)

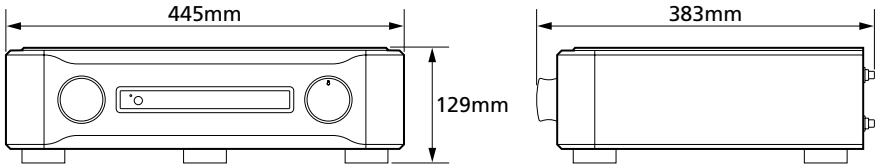
周波数特性 . . . . . 5 Hz～120 kHz (−3 dB)
10 Hz～35 kHz (−0.5 dB)
定格出力. . . . . 2 V
出力インピーダンス. . . . . 47 Ω (RCA)
100 Ω (XLR)
全高調波ひずみ率 . . . . . 0.005% (1 kHz, 2 V入力)
0.001% (1 kHz, 2 V入力, Awgt)
S/N比 . . . . . 100 dB (2 V入力,Awgt)
ゲイン . . . . . 0 dB /+12 dB /+24 dB切換式
入力感度 . . . . . 2.05 V (定格出力時)
870 mV (850 mV出力時)
410 mV (400 mV出力時)
入力インピーダンス . . . . . 40 kΩ (RCA, XLR)
最大許容入力電圧. . . . . 7 V
最大出力レベル. . . . . 7 V

電源 . . . . . 100 V AC, 50-60 Hz
消費電力 . . . . . 18 W
外形寸法（W×H×D）. . . . . 445×129×383 mm
(突起部含む)
質量 . . . . . 22 kg
許容動作温度. . . . . 0℃～40℃

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。



保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。
添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から一年です。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

15ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ステレオプリアンプ　C-03
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

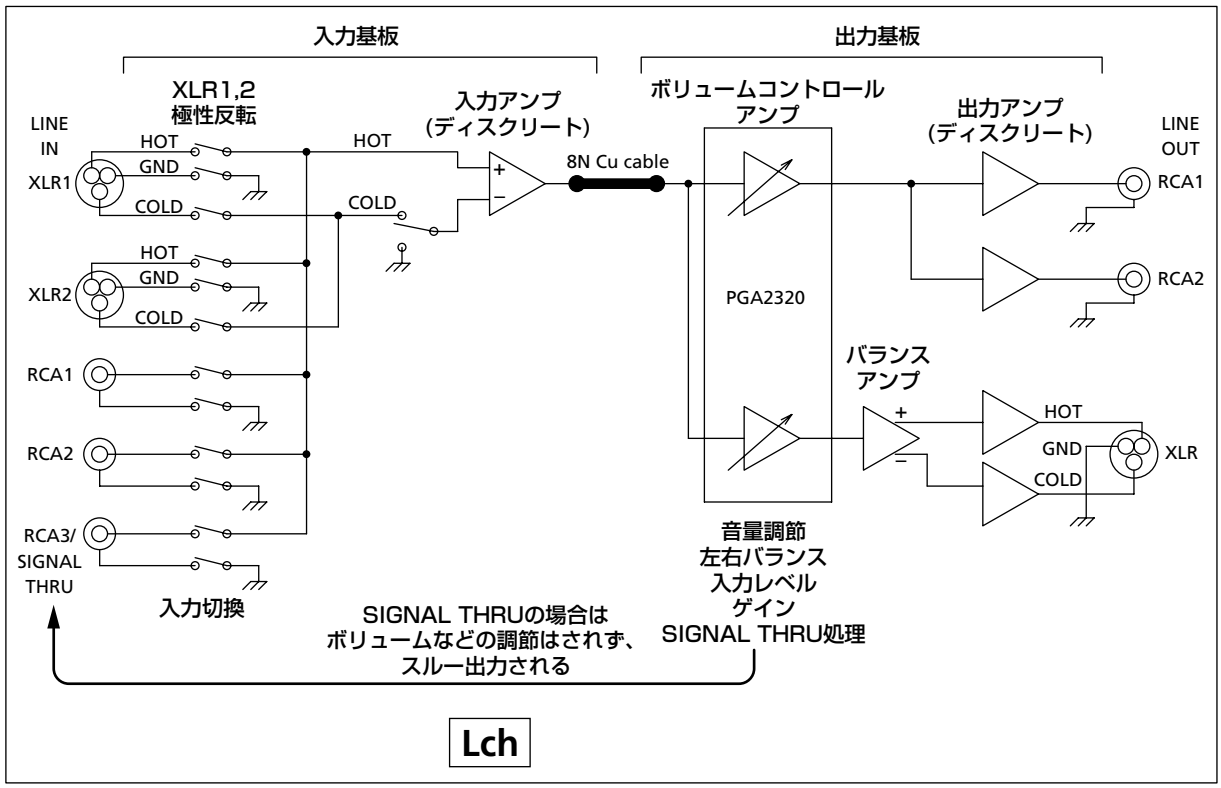
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

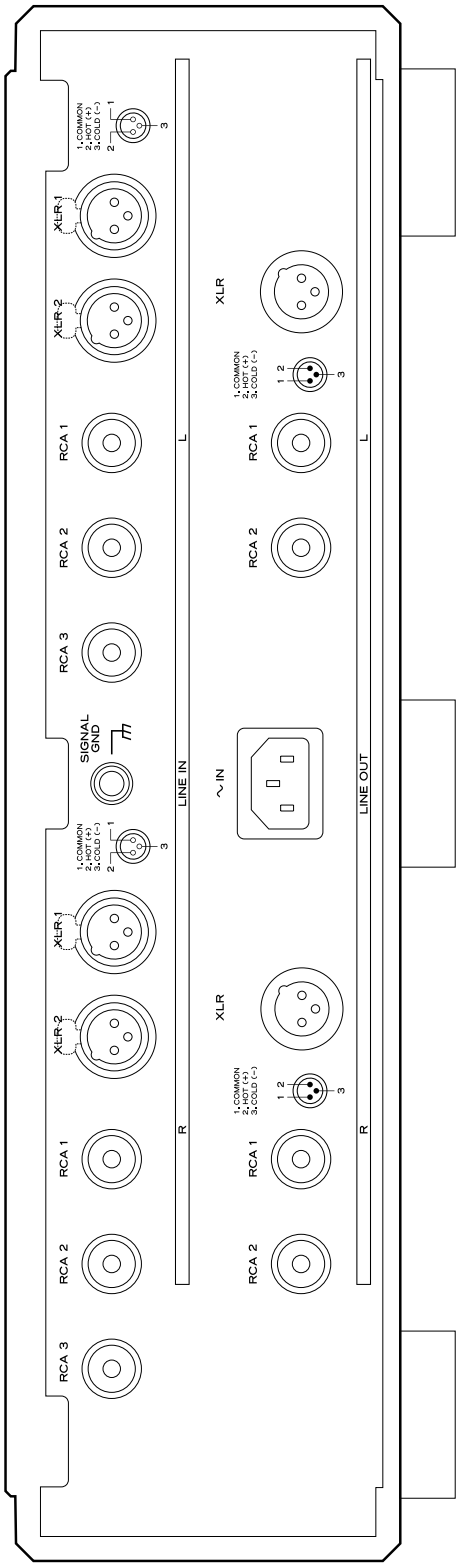
楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ブロック・ダイヤグラム



Rch 同じ

リアパネル


LINE IN
R
L
LINE OUT
R
L
XLR
XLR
RCA 1
RCA 2
RCA 3
XLR-1
XLR-2
1: COMMON
2: HOT (+)
3: COLD (–)
SIGNAL GND
~ IN

エソテリック 株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN JAPAN　0908· MA-1330B